



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4420 URL <https://www.esol.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 勝敏
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 落合 藤夫 TEL 03-5365-1560
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	2,235	2.7	△31	—	△24	—	38	—
2022年12月期第1四半期	2,177	△7.9	△142	—	△152	—	△106	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 65百万円 (-%) 2022年12月期第1四半期 △67百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	1.89	—
2022年12月期第1四半期	△5.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	7,397	5,392	72.9
2022年12月期	7,213	5,409	75.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 5,392百万円 2022年12月期 5,409百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	1.50	—	4.00	5.50
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	1.50	—	4.00	5.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,565	11.1	△201	—	△89	—	△100	—	△4.95
通期	9,692	9.2	△94	—	23	—	△0	—	△0.04

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「1. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	21,460,800株	2022年12月期	21,460,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	1,076,030株	2022年12月期	1,076,030株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	20,384,770株	2022年12月期 1 Q	20,363,538株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの影響は収束しつつあり、経済活動は正常化に向け動き出し、景気は緩やかに持ち直しているものの、ウクライナ情勢や急激な為替の変動、原材料等の価格の上昇等により、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの組込みソフトウェア事業の主要取引市場である自動車市場では、CASE（Connected つながる車、Autonomous 自動運転、Shared & Service シェアリングサービス、Electric 電動化）と呼ばれる領域が進展しており、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは自動車市場をメインターゲットと位置づけ、開発した製品を顧客の要望に応じたエンジニアリングサービスとともに提供するという、ワンストップソリューションの提供に注力するとともに、当社製品に対する研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場並びに倉庫・物流業界に対し、指定伝票発行用車載プリンタ（以下「車載プリンタ」という。）並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,235百万円（前年同期比2.7%増）、研究開発への投資により、営業損失31百万円（前年同期は営業損失142百万円）、経常損失24百万円（前年同期は経常損失152百万円）、繰延税金資産の増加により法人税等調整額が△79百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失106百万円）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(組込みソフトウェア事業)

当事業は、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品RTOS（リアルタイム・オペレーティング・システム）の開発・販売、受託開発を主に行っております。その結果、売上高2,103百万円（前年同期比1.8%増）及び研究開発への投資により、セグメント損失49百万円（前年同期はセグメント損失116百万円）となりました。

また、当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は319百万円（前年同期比34.8%減）、エンジニアリングサービス等は1,784百万円（同13.2%増）となっております。

(センシングソリューション事業)

当事業は、冷蔵・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売、新たなセンサネットワーク関連ビジネスを推進いたしました。ハンディターミナルなどの販売が前年同期比で減少となりました。その結果、売上高115百万円（前年同期比13.1%減）、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント損失8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は6,053百万円となり、前連結会計年度末に比べて151百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が47百万円減少した一方、現金及び預金が129百万円、商品及び製品が60百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は1,343百万円となり、前連結会計年度末に比べて31百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が48百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、7,397百万円となり、前連結会計年度末に比べて183百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,589百万円となり、前連結会計年度末に比べて276百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が182百万円、その他の流動負債が92百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は414百万円となり、前連結会計年度末に比べて76百万円減少となりました。これは主に繰延税金負債が56百万円、持分法適用に伴う負債が19百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,004百万円となり、前連結会計年度末に比べて199百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,392百万円となり、前連結会計年度末に比べて16百万円減少となりました。これは主に利益剰余金が42百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,979,994	4,109,960
受取手形、売掛金及び契約資産	1,482,293	1,435,011
商品及び製品	139,886	200,626
仕掛品	83,060	126,473
その他	216,172	181,195
流動資産合計	5,901,407	6,053,267
固定資産		
有形固定資産	277,978	269,259
無形固定資産	157,420	148,698
投資その他の資産	876,928	925,832
固定資産合計	1,312,327	1,343,789
資産合計	7,213,735	7,397,057
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	465,465	478,804
未払法人税等	33,928	25,843
賞与引当金	58,628	241,324
受注損失引当金	3,870	—
その他	750,979	843,214
流動負債合計	1,312,872	1,589,185
固定負債		
繰延税金負債	93,849	36,923
資産除去債務	123,081	123,538
持分法適用に伴う負債	176,239	156,286
その他	98,393	98,129
固定負債合計	491,563	414,877
負債合計	1,804,435	2,004,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	976,768	976,768
利益剰余金	3,230,569	3,187,589
自己株式	△82,027	△82,027
株主資本合計	5,167,128	5,124,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,925	264,263
為替換算調整勘定	3,245	4,581
その他の包括利益累計額合計	242,171	268,845
純資産合計	5,409,299	5,392,993
負債純資産合計	7,213,735	7,397,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,177,333	2,235,188
売上原価	1,407,039	1,434,677
売上総利益	770,294	800,511
販売費及び一般管理費	912,754	831,743
営業損失(△)	△142,459	△31,232
営業外収益		
受取利息	15	15
助成金収入	2,877	4,534
設備賃貸料	1,676	1,715
その他	345	916
営業外収益合計	4,914	7,181
営業外費用		
為替差損	3,245	—
有価証券運用損	11,363	—
その他	0	—
営業外費用合計	14,608	—
経常損失(△)	△152,154	△24,050
税金等調整前四半期純損失(△)	△152,154	△24,050
法人税、住民税及び事業税	13,091	16,601
法人税等調整額	△58,732	△79,211
法人税等合計	△45,641	△62,609
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106,513	38,559
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△106,513	38,559

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△106,513	38,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,439	25,338
為替換算調整勘定	1,451	1,335
その他の包括利益合計	38,891	26,673
四半期包括利益	△67,621	65,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,621	65,232

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	2,062,496	132,421	2,194,918
ソフトウェア製商品	489,415	—	489,415
ハードウェア製商品	—	132,421	132,421
エンジニアリングサービス	1,573,081	—	1,573,081
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,062,496	132,421	2,194,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,536	—	3,536
計	2,066,033	132,421	2,198,454
セグメント損失	△116,768	△8,106	△124,874

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	2,198,454
セグメント間取引消去	△3,536
未実現利益の調整額	△17,585
四半期連結損益計算書の売上高	2,177,333

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△124,874
未実現利益の調整額	△17,585
四半期連結損益計算書の営業損失	△142,459

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	2,100,116	115,119	2,215,235
ソフトウェア製商品	319,071	—	319,071
ハードウェア製商品	—	115,119	115,119
エンジニアリングサービス	1,781,045	—	1,781,045
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	2,100,116	115,119	2,215,235
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,980	—	2,980
計	2,103,097	115,119	2,218,216
セグメント損失	△49,485	△1,699	△51,185

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	2,218,216
セグメント間取引消去	△2,980
未実現利益の調整額	19,953
四半期連結損益計算書の売上高	2,235,188

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△51,185
未実現利益の調整額	19,953
四半期連結損益計算書の営業損失	△31,232